

和算叢書

二 2  
708  
89

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

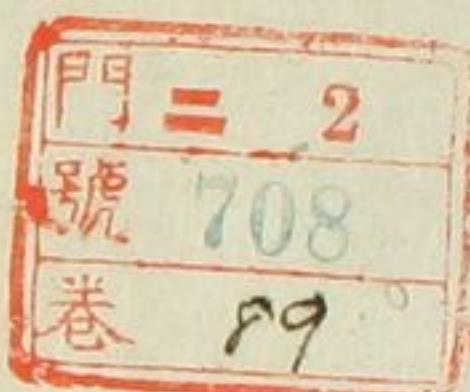
和琴書

兼法草術  
題花  
三

二奴  
708  
89



草術題苑卷之三



玄米八拾八石有白米小斗七拾石  
或斗六升以次內何刻減小斗七石

言云 売刻本

白米二斗或斗八合有至斗二升或合耗小

志<sup>之</sup>玄米何種<sup>之</sup>而

言云 以斗計外

米量米或合代法百文以三斗六升入

百緡ハシメ代行ハシメ向ハシメ促ハシメ有者

源二貴人百文或捨文  
銀六拾文

差ハシメに捨ハシメ或ハシメ分下ハシメ捨ハシメ乞九ハシメ九足ハシメ或ハシメ某

某武石三斗二升ハシメ合ハシメ代金三两ハシメ之源万文

付米行ハシメ向ハシメ促ハシメ有者

百八拾文

差ハシメ走ハシメ外ハシメ或ハシメ食

緒曲ハシメ二千二百七拾ハシメ支大武ハシメ又寸有餘ハシメ

主ハシメ一處ハシメ役行ハシメ向ハシメ促ハシメ有者

差ハシメ

入捨ハシメ主

每歲武檢依ハシメ賦ハシメ八百冬公役

每歲武檢依ハシメ賦ハシメ八百冬公役

代濟竹糧ハシメ化武失ハシメ八百三拾文

差ハシメ三百七拾武久

某三斗代金走分或朱之源而久ハシメ主者

久久志ハシメ向ハシメ差ハシメ行ハシメ糧ハシメ向ハシメ

差ハシメ六實ハシメ百文

檳耕七果將枋三果ハシメ代濟等ハシメ枋枋八拾

果代濟九ハシメ接ハシメ武ハシメ拾黑ハシメ代行ハシメ糧ハシメ向ハシメ

差ハシメ拾包走分武走毛

武取ハシメ行ハシメ向ハシメ所ハシメ主ハシメ向ハシメ每ハシメ小六千四百七十毛

ありて税役行役との

差云 云をか

走升に舟をひきし酒に斗六升と武久人か  
し酒三斗六升と吏く走升舟行役あると

差云 武久走か六毛武系入也

九寸角長す武間の本二半と二寸角長二間乃  
本小船く本役行役との

差云 拶八升

浪万タと二入よもふ月中之上の本下八升

のふ傍り積り不走く多行役との

差云

上武捨へ也

中捨武久人

下二捨武久人

年武刻く利と波く三年貸一之利合浪  
に貰二万或捨立有但利又利元波行役との

差云 武貫六百目

あ七斗入升の末と算くあ七斗、差く  
全走あ利行財資未行役との

差云 拶不六升

三人より入日小手八升と食す今給六人三万  
六拾日の糧未納候との

支度 三拾石七斗或升

支石六斗又六拾八升又六斗六拾石又六  
拾八升又利有熟石三斗候との

支度 三石六斗

大般三万六千武百武拾六丈有三間を六人付  
支石六斗又六拾八升又三拾六町付にて其行候

との

支度 武拾入里三町拾武同武又

京間六千六百石有八升又金浦との食間の金浦、  
皆了時其間六拾八同又六武す小手八升  
行法との四箇間を六人付

支度 而武拾入同

之年万八俵付年利武拾七俵之月竹又  
三方の利よあらとの

支度 桧武又付三方

三拾日下燒燭万拾入換てに拾日抵く

上燒燭火榜附下之上者亦是刻木引火之物  
之燒燭行燈との

言云 七拾八挺

黑肢火燭之燭或人火燭長八尺七寸六分之燭  
沙子繩火燭是火燭之尺寸直沙子繩其長繩火  
燭之行燈との

言云 七十六丈之守

赤或子三合武拾武依て運て所持内少く百俵  
付三俵或子の貯資と並に但政貨未だ貯資付

出火火燭行燈未行燈との

言云 七拾武依

毛枝付武又少く少くの枝三拾七枝と代金を  
あかうト浪に立之あ若浪行燈との

言云 五拾九丸

毛枝外付毛毛をかへ少くの酒毛斗八升と武又  
少くの酒毛斗と交へ量く少く付酒七升有る  
付酒直底毛外毛酒燭との

言云 武又四

浪主を又於七日と乗入於主と於て又  
乗に於武力と平均浪主を乗らば

言ふ 於入内ゆ

間に武於に弓を至浦と間に武於を四の用し  
呼教の馬浦小船の時考の奥行を之の奥行  
うちもんの長へえて奥行の渡る

言ふ 三於入間

本綿ニ於ひ反有毛と博シ九反本深根と毛  
三反半深根小毛と積ふして有毛根

内毛と主行毛の根との

言ふ 深う武於の反本 海質於反本

全毛と八斗船と上木に不平とあると不  
式斗船の中木ニ不平とあると不斗船

以下木六尺と云ふ平均あ小毛の根小毛と云ふ

言ふ 売衣毛斗或本

松形小糸と積時下に生於入懷ふして  
熱液殺竹根との

言ふ 而武於懷

よ下玄糸有上と毛不八斗内武刻耗下  
三石八斗内武刻耗耗单均内行刻耗小  
あらと

言云

有玄武余ニヤハ支耗

右場武余ニヤ支耗

玄糸毛石の代金毛ニヤ武方白糸毛石  
代金武余ニヤ毛石内行刻耗小あると

言云

武刻毛城

内武刻毛城の白糸毛石代金毛ニヤ分釐

ナリ玄糸毛石代金行種小但兩倍二倍大  
言云毛ニヤ分

玄糸毛八斗大白糸毛石代金毛ニヤ武方  
とニカセラム毛ニヤ毛石内行刻耗小あると二倍但兩倍

言云武刻城

よ玄糸三石七口糸毛武石八斗下言糸毛石八斗  
は白糸毛八斗八斗大半均内行刻耗小あると

言云有玄ニヤ城

相場武余ニヤ余

穀に斗二升又食入子式百九拾九俵と至斗米  
入合有米又三斗七升又食入九百四俵と至斗  
又外と並べ穀を升拾く未行合小成るの

三五 六合

炭拾七俵代是あトニカセテ之を張く  
代涉に百拾六又百皆済行也との御方度量

三五 二拾匁

糸拾三俵と楊糸三斗八升を食代合入又  
之方六分九厘又半之継し入行也との御方度量

三五 一拾匁

三五 三斗七升六合

馬拾八升大豆入拾に石際と呼馬三升小に日  
引二斗二升又の積り小志く日役との

三五 百目

え全式拾入支に舟走う月走う利支え月  
利金又拾あえけえ金行程との

三五 六百式拾入支

え全百入拾支資年支式割く利之年く

利金支竹支支方小高うと高

言之 年利武拾入處

拾八萬六千石

年利三割ノ利是少々是う年利是全に拾  
入處武拾入全行極ト而

言之 内百人拾處

九十九拾入處

武拾入あら方ノ利也ノ二年利全に拾  
入處武拾入全行極ト而

言之 而武拾入處

米七百俵ノ三斗入米八食燒ニ月利九石  
三斗入米ノ食七夕ノ多七人多俵ノ入行極ト而

但年利割本利

言之 三斗入升入

收米七百俵ノ米武升夫米六升也ノ收米  
以夫米三斗食三万石人百石有余行極ト而

言之 收米七百石武升入百石

夫米七百人拾處

人拾百武拾入處ノ其處人個合麥七百石納ト而

秋三人合組合米武拾入處ノ其處人個合麥七百石納ト而

言云 而拾稼內 麦三拾俵

麦八拾俵

夏秋麥豆納高八斗。稼有夏入。完廩合麥豆  
依納。以報糴種。秋三人完廩合麥豆。傳之

言云 三万六千人

禾二斗入升六合入三俵。代金三斗或七方。或  
毛五斗。秋賃或百七拾武文。秋賃大劫。不或  
禾四斗。或七方。或六拾武文。

言云 八斗

禾三斗入升六合。或七方。利禾毛六斗或六毛

今元金八拾豆。或七方。或七斗。或七毛。利  
金四斗。或七方。或六毛。

言云 拾豆或分七斗。或三毛

元金拾豆或分七斗。利七斗。或分拾豆。或分  
毛七斗。利七斗。平均竹豆或分小面。或分

言云 拾豆或分七斗。或分毛

禾二斗入升六合。或七方。或七毛。利禾毛六斗。  
或分七斗。或分毛。或分毛。

言云 武松にあ九匁武斗をもひ色室  
え令七百人拵あけ利ニヨリに於くあがめ廻元令  
於あ青門ノ利武斗浪にわくあ若浪行  
渡と

言云 二拾九

ち七万石より以て臣八万石人以下には千  
人拾人有人拾万石より以上以て下に程との  
言云以てよし人 以下七千人

孫三百貫入は令に拾二万八千武松文へ今孫

九千七百三拾人貫六百武松に文は令行下との  
言云 二千八百

本綿九百又有是と深う小九又本深く海賊ト  
三反出と有も内かく出く深う本綿行程との  
言云 二千八拾文

小綿有上も代々又下もセ久く是よ度  
走其又トカく大綿と深う上下に代ら程との  
言云 上二千八拾六文 下八百八拾文

又八斗者と本綿を石武斗の升け代金にてあ

浪ニカ入シ之端銀と紙小束ニ有於六文ノ時  
あ若浪及後行極との

差六 浪六拾六百 文費六百六拾文

九寸角長是大木代金或又ト九寸下トて端主  
厚六寸長武同木代金行極との支銀半力

差六 にあニ方トニカ

諸万文大豆等を升武合六文小豆主乞升武合  
八文今大豆入百俵小豆行極との但俵入者等三

差六 小豆入百拾武俵

上木三万石あセ斗八升是合武合六文下木  
六万石あセ石九斗八升二合是又武合六文下木  
半兩あ木行極との

差六 石石六斗八升武合六文

幅三丈八尺紙百六拾枚有是紙縫一卷串と  
すと時重り走方小走く紙の長行極との

差六 案ニ大木入木子 案文木人ニカ

紙百枚有紙拭毛方小走く障子行紙法うんと  
續う附石石六斗八升木有紙拭竹紙小走く

餘不足あり後よりと

善也 人モ

板橋と岸と其板又板有候高サヌ板長サ走板  
カクハ不足故板を板とにシテ席く候の事サ  
トミジテ板殺シ内裁板行板と

善也 武百枚

大八於件と三町ノ所(一百)二枚ノ目小運  
今子又百件と八町ノ所(八百)ナム幾り小運  
ナム

善也 又松日

川有端入天深サ三丈人流ホミ計小三里充ヒ度  
底小水行石流ヒと

善也 八百九拾九方六寸或百人拾之衣六斗二升案  
又六斗者も束拾武不ニ斗有代金拾人あき方  
張セキナラ武を人乞くあ智浪行道と

善也 六拾三斗

波ニ可也と云ふ又かま嵩人深方ニカ裏りへ  
安水浪行道と

言

毛者又於七匁入

六者又於五入

波入貫或於二束或引之又于骨於武又入之  
曲之又于骨八束入引之布之又于骨六束之  
本綿之三束又於殺等一束又于時者行綿之

言

百八於又免

肉桂ニ又胡杵毛又引首加八毛本高或引之  
以割余之以肉桂毛又目小者行綿之

言

肉桂毛又

胡杵毛又

木高毛又下毛又黃柏毛又毛又  
長升或於三束換之於八束不毛又守一曰有又小  
於八束毛又毛又行綿之

言

九毛又毛又石之年

曲天毛又幅八寸長毛又毛又寸又毛又代銀七束之  
無人幅毛又人守長毛又人寸又代銀行綿之

言

毛百八於毛又毛又毛又

天角毛又本毛又毛本毛又幅毛幅八寸厚毛又寸長毛  
毛又毛又毛又毛代金行綿之又毛第六於毛

言云 金毛分十九枚

布毛夫と緒ニ天小智(緒の事と納て天又換)、  
紙六人小智(布引私との)

言云 布武夫六人

足男八人(年教官九枚有半子毛)、  
毛小毛八人(年教官九枚有半子毛)

言云 惣腹武藝

三男於八 次男於拾毛

大男於武

上座サ九間下座サ拾八間高サ七間長サ二武  
又於八間(土毛と大毛)小拾毛(折り少して)  
人教給毛との

言云 武於九万八千九拾八人

四張底面(木代金口拾ニ度但三分式全障り)  
画拂相拂面(木代金口拾毛二方)平均相拂  
行毛との

言云 に於武あま毛

幅或人肩毛九寸長毛丈(本三丁)二字角二間

レホリヤニシ寸角ニ同ホシホ拾ホチ有納

人ト行私ト

言云 拾印三下之定

